

プラタナス

No. 17

平成29年5月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



院長挨拶

病院長就任の挨拶

登録医紹介

医療法人 恵徳会 あさかクリニック

特集チーム医療

呼吸サポートチーム

特集ドクターカー

ドクターカーの紹介

ボランティア紹介

マイタウン・マイホスピタル
ミニニュース

お知らせ

フレッシュに
頑張ってるね!



“マイタウン・マイホスピタル”

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～
 を当院の基本理念として皆様に信頼されるより良い
 病院を目指してまいります。

病院長就任のご挨拶

那須赤十字病院 院長 白石 悟



白石 悟院長

移転をした上で、名称を那須赤十字病院とあらためました。そのような諸先輩方が築き上げた当院の歴史を引き継ぎ、今後とも、マイタウン・マイホスピタルの地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院にを当院の基本理念として、皆様に信頼されるより良い病院を目指してまいります。

県北唯一の三次救急指定病院として

当院は20床の緩和ケア病棟・救急病棟（ICU）（計30床）・ヘリポートを有する10階建ての免震構造を持ち、診療体制の整備、医療教育、高機能医療機器の整備を行い、県北唯一の三次救急指定病院として常時24時間体制で運営しており、災害拠点病院として災害発生時には救護班を現場に派遣し、傷病者を受け入れる態勢を整えております。近年、がん患者も増加しており、当院は県北唯一の地域がん診療拠点病院として、手術・放射線療法・化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を行っております。また、がん患者の就労支援として、当院は県内でいち早く社会保険労務士によるがん患者の就労の相談を行っており、加えて4月よりハローワークとの連携もはじまり、より充実した支援が可能になると考え、がんをより身近に感じていただくために、地域住民の方々向けに、質問や相談コーナーも設置した。がんの市民公開講座や、がん患者と

新たに病院長に就任して

私は今から31年前の昭和60年に当院に就任しました。当時の当院の名称は大田原赤十字病院であり、1949年（昭和24年）に日本医療団から移管され、60年以上栃木県北最大の公的医療機関として診療を行ってまいりました。その後、近年の医学の進歩による医療の高度化・専門化の進展にともない、病院機能上、地域住民の皆様にご利用に最新・最適な医療を提供することを目的に、2012年7月（平成24年）に新築

家族の会」なども開催しております。さらに、患者サポートセンター内にがん相談支援や図書情報も用意しておりますので、是非ご利用ください。

さまざまな職種とのチーム医療を強化

21世紀はさらなる超高齢化社会を迎えることが予想されます。医学・医療に対する最近の社会的ニーズは、疾病の治療（Medical）のみならず、人が健康で幸せな一生を送るための、ケア（Care）を重視することが必要となります。医療に加え福祉まで見据えた取り組みが求められており、慢性期や在宅などの連携も、今後より一層充実強化してまいります。現在、当院では入院中の転倒・転落など医療安全対策の推進や、年齢を考慮した低侵襲な治療も行っております。また、院内では緩和ケア、リハビリ、栄養サポート、褥瘡対策、感染対策など、さまざまな職種とのチーム医療を強化し、さらに院外の地域医療機関と連携して、救急医療・がん診療・周産期診療・感染症対策・予防医学・生活習慣病対策のさらなる充実に取り組んでまいります。

質の高い、安心安全な医療を提供

職員ひとりひとりが自己研鑽に努め、日頃よりご協力をいただいている後援会やボランティアの皆様と共に、地域住民の皆様とのニーズにお応えし、信頼される病院であり続けるよう邁進努力していく所存です。引き続きご支援ご協力の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

診療所の先生方はみなさんの健康を支えてくれる心強いパートナー。こちらのコーナーでは日々当院と連携いただいている診療所の先生を紹介していきます。今回は「あさかクリニック」をご紹介します。

対象疾患：小児科
得意分野：育児の悩み相談



若江院長

先生にインタビュー

当院との医療連携について期待されていることはどのようなことですか？

期待というか現状をお話すると、時間外も紹介患者さんを受入れてくれるし無理なお願ひも対応してくれるので本当に助かっています。連携に関しても、入院が必要と判断してご紹介した患者さんは、必ず入院させてくれて治療してくれるので本当に安心して患者さんを紹介することができます。

また、時間内の紹介は病診連携室の方々のご努力で、極めてスムーズにできています。ありがとうございます。早く引き受けてくれる小児科の先生方にはお礼の言葉もありません。感謝しております。病診連携を円滑に運営する為の懇親の場を毎年行っていたので、個々の先生方の顔が見えるようになり、紹介時の安心感にも繋がっています。

毎日忙しいと思いますが、休日はどう過ごされていますか？

平日はほぼフルタイムで仕事をしておりませんが、基本主婦であり母親でもあります。日曜は貴重な休みでフルに使用したいので、家事に追われることのないよう日頃から家事をためないようにしています。

もし医師になっていなかったら美術館の学芸員か、インテリアコーディネーターになりたいと思っています。幼少の頃から美術書やインテリア関係の雑誌を読んでいた。現在も美術展にも行きますし、最近ミュージカルやクラシックバレエにもはまっています。

地域の方々、患者さんへ一言お願いします。

今の若い保護者の方は子供の熱が下がらない「子供の発達が遅れている」など困ることが

あると、ネットを駆使してお子さんの診断名を導くことがよくあります。その結果間違った判断で不要な心配をしてしまうこともありま。そんなことでも大丈夫なので、困ったこと、心配なことがあったらとにかく小児科医に相談して欲しいと思います。小児科医は子供の病気を治すだけでなく、子供達の健全な成長を見守る役目もあると思っています。それからもう1つ、病状の診断名を調べるよりも、お子さんの具合が悪くなった時にはご家庭でどういう看護をしたら良いかを調べて欲しいです。たとえばお子さんが吐いている時、下痢をしている時に、どのような飲み物や食事を与えたら良いのか。下痢が続いているのに油の多い消化の悪い食事を食べさせてしまったり、吐いているのに欲しがるからお菓子を食べてしまったり。その結果症状が悪化したり長引いたりしていることが多くあります。

一般的に病気の治療は薬も大事ですが、ご家庭での安静と看護がとても大切です。最近の地域でもお子さんを保育園に預けて働いているママが大変多くなりました。お子さんの具合が悪くてもできれば仕事を休みたくないので、保育園を休ませたくない、少し調子が悪くても預けてしまう、という気持ちは私も働く母親なのでよくわかります。でもそれで無理して保育園に行き具合が悪くなることも多いです。お子さんの具合が悪い時はできるだけ安静をとって欲しいと思います。またご家庭での看護として食事療法がとても大切です。具合が悪い時はどのような物を食べさせたり飲ませたりしたら良いか、そこをしっかり把握して欲しいと思います。またお子さんの具合が悪い時こそ、手を掛けて欲しいと思います。たとえば手近にあるヨーグルトやバナナを食べさせるよりも、お粥やおじやなどを作って食べさせて欲しいです。具合が悪いときにご家族が看病してくれたい

基本情報

- 院長 若江 恵利子
- 住所 大田原市浅香3-3711-12
- 電話 0287-22-2601
- 診療科目 小児科
- 休診日 日曜、祝祭日、水曜午後、1月・8月以外の第2金曜日

受付付近、4月でしたので桜の花がきれいでした。

ことはきつとお子さんの記憶にも残ります。私は一男一女の母で、二人ともおなかの弱い子どもたちで、よく胃腸炎にかかります。そんな時には出汁をとっておじやを作ります。普段は軟らかいごはんは嫌うのに、具合が悪い時には身体が受け付けるのでしょね。病気の時には安静・食事療法がとても大切だと思います。



チーム医療とは従来、医師が中心となった医療を、職種の異なる医療従事者が、お互いの専門性を発揮し、スムーズに連携していく、患者中心の医療です。医療従事者は、医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・社会福祉士・管理栄養士・臨床検査技師・診療放射線技師・事務など多職種で構成され、対等の立場でお互いの意見を尊重し、個々の患者さんの状態に合わせた質の高い医療を提供します。当院のチーム医療は全部で10チームになります。第3回の今回は「呼吸サポートチーム」を紹介します。

呼吸サポートチーム

【呼吸サポートとは】

呼吸サポートチーム（Respiration Support Team：RST）は主に人工呼吸器を使用している患者さんを回診し、人工呼吸器を早期に外せるようサポートするチームです。医師、看護師、理学療法士、臨床工学技士が人工呼吸器の設定や呼吸ケアに関すること、リハビリテーションに関することなどそれぞれの専門知識を持ち寄り、最善の人工呼吸器管理ができるように活動しています。

【構成人員】

医師 救命救急部、呼吸器内科、循環器内科
 看護師 集中ケア認定看護師、呼吸療法認定士、感染管理認定看護師
 理学療法士 呼吸療法認定士
 臨床工学技士 呼吸療法認定士
 その他：薬剤師、管理栄養士、医療安全管理者が適宜加わります。

【活動内容】

①RST ラウンド

人工呼吸器を使用している患者さんや酸素療法を行なっている患者さんを回診します。全身状態や治療状況から患者さんに合った呼吸管理を提案し、安全な使用かつ早期に呼吸器を外せるような関わりに努めています。

②医療スタッフへの教育・情報提供

医療スタッフに対し人工呼吸器や呼吸管理に関する研修会を年に3回開催しています。また、呼吸管理に関する様々な情報を適時発信し周知徹底に努めています。

③人工呼吸器関連肺炎の発生状況の把握

人工呼吸器を使うことで起こる合併症の一つに人工呼吸器関連肺炎があります。この発生状況を調査し適正な呼吸ケアを提唱し発生予防に繋がるよう努めています。

④委員会の開催

院内の呼吸ケアに関する事や人工呼吸器に関連したマニュアルの作成、新しい医療備品の導入についての話し合いを行なっています。



呼吸サポートチームスタッフ



病棟ラウンドの様子



研修会の様子

栃木県北地域で唯一の三次医療機関として「助けられる命は助ける気持ちで」

那須赤十字病院ドクターカー事業について

当院では救急患者の受け入れや治療において、地域の医師会・2次医療機関・消防機関などと連携し平成21年10月よりドクターカー事業を開始しています。今回は当院のドクターカー事業について説明します。

ドクターカーの紹介

当院のドクターカーは、乗用車型（フォレスター）で、傷病者を搬送するための車両ではなく、救急専門医と看護師を乗せ、救急現場へ向かう専用車です。ドクターカー出動時には赤色回転灯を点け、サイレンを鳴らしながら緊急走行をして救急現場へ向かいます。傷病者の搬送手段は、同時に現場へ出動している救急車が行います。



前を走る車のドライバーがルームミラーで確認できる鏡文字

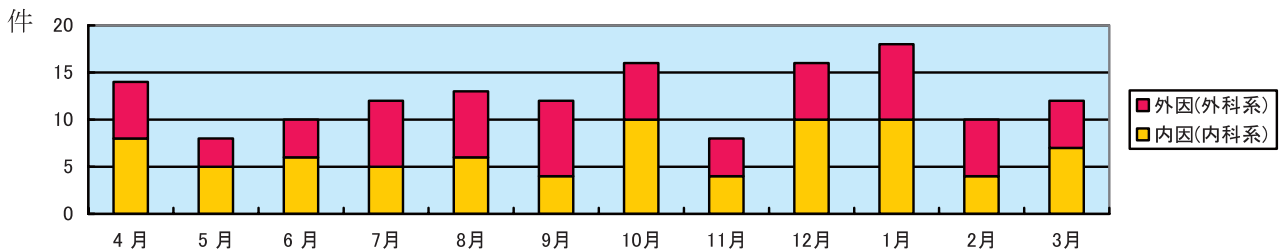


消防署等と連絡を取るための無線機



出動時に現場へ持って行く医療資機材

ドクターカー運用実績件数 平成28年度



ドクターカーQ&A

Q1 ドクターカーの運行時間は？

平日（病院開院日）の午前8時30分から午後4時45分です

Q2 ドクターカーには特別な装備はありますか？

サイレンと赤色回転灯と無線機がついてますが、基本的には、医師を救急現場に運ぶことを目的としています。

Q3 ドッキングポイントとは？

当院と救急現場の距離が離れている場合、医師・看護師と傷病者の接触できる時間が延びてしまうため、救急隊は救急現場を出発し、出場途上でおち合い、時間短縮を図るために設置された場所です。

Q4 ドクターカーと救急車が合流するドッキングポイントはどのような場所で何カ所ありますか？

ドッキングポイントは、店舗の駐車場、公園、道の駅など現在163か所を選定しています。

Q5 ドクターカーの要請方法は？

消防機関より、出動が要請されます。個人で要請はできません。

Q6 ドクターカーを利用した場合の費用は？

救急現場や救急車内で実施した医療行為については、医療費の一部が患者負担となります。

Q7 搬送される医療機関はどこですか？

容態や、搬送時間により現場出動医師の判断で病院選定を致します。

最後に

1分、1秒を争う状況もあります。出動中のドクターカーが接近してきた際には、道を譲って頂けるようご協力をお願い致します。

那須赤十字病院 ボランティア会

スクラップブック展示（印南佳子さん・高野美香さん）

今回ご紹介するのは、スクラップブック展示の印南佳子さんと高野美香さんです。

スクラップブック展示ボランティアは毎月第一・第三金曜日、午前中はもっとクロスルームで一般来院者を、午後は産科病棟で入院患者さんを対象に行っております。スクラップブックとは写真を美しくレイアウトして思い出をより鮮やかに残していくクラフトです。展示されている作品も、素晴らしく思い出をより鮮明に伝えられます。来院された際は是非お立ち寄りください。



（左から）作品を手に持つ高野さん 印南さん



素晴らしい作品の数々

Qスクラップブックを始めたきっかけは何ですか？

我が子のアルバムを作ろうと考えていた時に、素敵に飾れて沢山の思い出を綴ることが出来るこのアルバムと出会えたので始めました。

Qいつどんなきっかけで当院のボランティアを始めましたか？

生まれてきた子の大切な写真をアルバムとして残す事の良さを1人でも多くの方に早く知って頂きたくて、平成28年4月から始めさせて頂きました。

Q当院以外でどのような活動をしていますか？

（スクラップブック専門の会社「クリエイティブメモリーズ」の公認アルバムアドバイザーとして）アルバムの素晴らしさを伝えながら、体験教室を開き、アルバム作りのお手伝いをしています。

Qスクラップブックで心掛けていることは何ですか？

一瞬の写真が言葉を添える事で、より鮮やかに、特別な写真として残せるように心掛けています。

Qスクラップブックの魅力はどんなところですか？

眠ってしまいがちな写真を何度でも見返したくなるアルバムに出来るどころと、思い出を書いて残せるので、愛情たっぷりのアルバムが出来るところです。

Qスクラップブックに興味のある方に一言お願いいたします。

大切な御家族の為に、楽しく、可愛く出来るアルバム作りを私達と一緒に作りませんか？

平成28年度 ボランティア総会が開催されました。

3月16日（木）、マイタウンホールにて、ボランティアの皆さんをはじめ病院関係者が集まり、平成28年度ボランティア総会が開催されました。

ボランティアの皆さんには、日々総合案内などで患者さんの案内、緩和ケア病棟での活動、理髪などさまざまな活動をしていただいています。高橋会長からは「いつもみなさんのご協力に感謝いたします。今後とも患者さんの為に協力し、力になれるよう頑張っていきましょう」とあいさつがありました。

総会終了後は車椅子等の使用方法などの講習をして頂きました。これからもよろしくお願ひします。



総会に参加した病院関係者とボランティアのみなさん



車椅子の研修を受けるボランティアのみなさん

2月 子供達が元気に節分の豆まき

院内託児所ポケット/2月3日(金)

託児所で1年の無病息災を願い、子供達が元気に豆まきをしました。この行事は伝統文化と季節感に触れることを目的に毎年行っています。

鬼と仲良くする子、大泣きする子もいましたが、鬼に扮する先生達を前に大興奮の様子でした。



鬼は外、福は内〜♪

3月 院内防火訓練の実施

5階東病棟/3月14日(火)

消防法に基づく防火訓練が5階東病棟で実施されました。

今回は、上階の6階東病棟へ延焼した設定で避難する訓練も併せて実施、職員は自衛消防組織^(※1)により行動し、真剣な面持ちで訓練をしました。

防火訓練終了後は、職員による放水訓練も行いました。



患者搬送をする救助班。

平成28年度局所集団災害対応訓練

那須烏山消防署/3月15日(水)

那須烏山消防署にて行われた局所集団災害対応訓練に、当院から5名の職員が参加いたしました。大型バスと乗用車による交通事故で多数傷病者が発生したことを想定し、当院は救急隊から要請されたドクターカーにより現場出動した形で、救急隊・消防や他医療機関の医療チームと連携した訓練を行ないました。

今後とも、赤十字及び災害拠点病院として更なる向上を目指し、訓練などにおいてスキルアップを図ってまいります。



防護服を着て患者移送

小型スチール台車11台の寄贈

那須赤十字病院後援会/3月23日(木)

那須赤十字病院後援会より、今年度は小型スチール台車が寄贈されました。今回寄贈のスチール台車は病棟転床時に患者さんの荷物を運ぶ目的で使用いたします。

現在の後援会の会員数は法人147団体、個人221名です。公的医療機関として病院が適正かつ円滑に運営されるようご支援いただいております。



(左から) 唐橋事務部長、山本看護副部長、玉木後援会長

4月 新たな力が加わり新体制に

辞令交付式/4月1日(土)

今年度は新入職員80名が加わりました。患者さん・地域の皆様からの多様なニーズに応えられるようこれから頑張っていきます！

どうぞよろしくお祈りします。

自衛消防組織^(※1) 消防法に基づいて設置される人的組織。



がんばれ、フレッシューズ！

病院ホームページ バナー広告募集

病院ホームページのトップページに広告を掲載しています。

■掲載位置

A:全ページ左側の病院が指定する場所。

B:全ページ下部の病院が指定する場所。

■掲載位置

A枠:縦70ピクセル×横220ピクセル

サイズ 30KB以内

形式 gif, jpg, png形式

■掲載期間

一ヶ月を単位とし、最長1年

■募集枠

A枠:3

B枠:4

■掲載料金

A:15,000円/枠/月

B:10,000円/枠/月

■申込み・問合せ

総務課広報係 ☎0287-23-1122(代表)

E-mail: nrchp@nasu.jrc.or.jp

ホームページアドレス: <http://www.nasu.jrc.or.jp/>

インターンシップのご案内

平成30年4月に就職する看護師の方を対象にインターンシップを行います。

平成29年5月2日(火)・7月26日(水)・8月2日(水)
8月9日(水)・16日(水)・23日(水)・30日(水)

申込先・問合せ

那須赤十字病院 看護部 ☎0287-23-1122(代)

今月の表紙

新人研修を4月1日から6日までの研修を受け、各職場へ配属となります。地域の為に頑張ります。



編集後記

風薫る季節になりました。

今回は新年度最初の発行となります。

新院長就任やドクターカーQ&Aを掲載いたしました
が、いかがだったでしょうか。

これからも地域の皆様に関わりやすく、より当院を知って
頂けるような広報誌にしていきたいと思っています。

気温の変化も激しく体調を崩しやすい時期ですのでお
体にはご注意ください。

薬剤部 青木 正子

「プラタなす」に広告を掲載しませんか

病院広報誌「プラタなす」に掲載する有料広告を募集しています。

■広告の大きさ 縦30mm×横95mm

■掲載期間 1号単位(4回/年発行)

■募集枠 最大4枠

■掲載料金 20,000円/枠

■掲載期間 発行号単位

■申込み・問合せ

総務課広報係 ☎0287-23-1122(代表)

那須赤十字病院第10回がんの市民公開講座

日時:平成29年7月15日(土) 13:30~15:30

場所:那須赤十字病院 2階 マイタウンホール

対象:一般市民 お車で来院される方は駐車券を持って会場へいらして下さい。

体験談 ピアサポート那須の会員による

講演 「今日が人生の最後の日だと思って生きなさい」

講師 めぐみ在宅クリニック 院長 小澤 竹俊 先生

共催:那須赤十字病院

がん患者の会

ピアサポート那須

マンマびあるーチェ

後援:那須郡市医師会

問合せ:那須赤十字病院

がん診療対策推進室事務局

☎0287-23-1122(代) 内線 3517



本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください!

抽選で3名様に「CroKuma救護服ぬいぐるみ」「CroKuma ナースぬいぐるみ」「赤十字マグカップ」をプレゼントいたします。

以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールにてご応募ください。

●応募先

郵送/ 〒324-8686 大田原市中田原1081-4

那須赤十字病院 総務課 プラタなす第17号 プレゼント係

FAX/ 0287-23-3004

宛先「総務課 プラタなす第17号 プレゼント係」

メール/nrchp@nasu.jrc.or.jp

件名「プラタなす第17号 プレゼント係」

●応募締切り 2017年5月31日(水)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

那須赤十字病院

基本理念

マイタウン・マイホスピタル
～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さんの立場を尊重し、患者さんに信頼される病院をつくりたい。
3. 日々の研鑽を惜まず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.17

発行日 2017年5月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ビ・テ・オ・印刷